



DAIDO METAL

大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第117期中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同期比)	1
営業のご報告	2
TOPICS	3
2025年3月期 通期業績予想	5
配当について	5
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長兼 CEO
判治 誠吾



代表取締役社長兼 COO
古川 智充

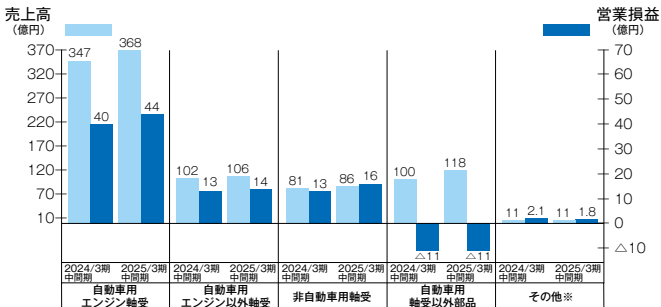
連結決算ハイライト(前年同期比)

1 2025年3月期第2四半期(中間期)決算概要

単位:百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2024年3月期 中間期	【当期】 2025年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	63,383	68,432	5,048	8.0%
営業利益 (営業利益率)	2,210 (3.5%)	2,708 (4.0%)	498 (0.5pt)	22.5% -
経常利益 (経常利益率)	2,212 (3.5%)	2,620 (3.8%)	407 (0.3pt)	18.4% -
親会社株主に帰属する 中間純損益 (純損益率)	615 (1.0%)	528 (0.8%)	△ 87 (△ 0.2pt)	△ 14.1% -
為替レート (1USドル/円)	144.99	161.07	左記為替レートは 各期6月末TTMレート	
為替レート (1ユーロ/円)	157.60	172.33		

2 セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)



*「その他」の区分は、金属系無源軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

3 セグメント別売上

◎増収要因 △減収要因 単位:百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	前年同期比		増減要因ポイント項目
	増減額	(増減率)	
自動車用エンジン軸受	2,113	(6.1%)	△日本:トラックの東南アジア向け(インドネシア、タイなど)の需要減退の継続に伴う受注減 ◎北米:日系メーカーの需要の戻りやHV車などの需要増に伴う受注増 ◎中国:中国メーカーの需要の戻りや中国2輪メーカー開拓による受注増 △欧州:EV化に伴う内燃機関搭載車の需要減に加え、大型トラック用需要は堅調であるものの在庫調整による受注減
自動車用エンジン以外軸受	432	(4.2%)	◎中国:電動自動車向けの開拓などに伴う受注増 △タイ:金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減
非自動車用軸受	523	(6.4%)	◎大型船舶:LNG船(液化天然ガス運搬用)、自動車運搬船やばら積み船の需要増加、継続的な中国や韓国市場の開拓に伴う受注増 ◎建設機械/中小型船舶/産業用発電機他: 建設機械用サービスパーツは在庫調整などによる受注減となるも組付の需要は堅調、船舶用補機や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増 △電力エネルギー/産業用コンプレッサー他: 水力発電機用軸受や石油精製プラント向けコンプレッサー用軸受の受注増はあったものの蒸気タービン用軸受の一部で在庫調整などに伴う受注減
自動車用軸受以外部品	1,746	(17.3%)	◎アルミダイカスト製品:受注価格調整の効果による影響や北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増 ◎精密金属加工部品:北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増
その他	3	(0.3%)	
セグメント間消去	230		
全体合計:	5,048	(8.0%)	

4 セグメント別営業損益

◎増益要因 △減益要因 単位:百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	前年同期比		増減要因ポイント項目
	増減額	(増減率)	
自動車用エンジン軸受	403	(9.8%)	◎日本:継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響 ◎欧州:労務費や物流費の削減努力 △北米:物流費・経費の増加やドル安ペソ高の進行によるメキシコ生産品の原価増による影響
自動車用エンジン以外軸受	82	(6.0%)	◎日本:継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響
非自動車用軸受	264	(19.0%)	◎大型船舶向け開拓による増収や販売価格の改善による影響
自動車用軸受以外部品	17	(-)	△アルミダイカスト製品:金型管理の高度化、仕上げ工程の改善や不良品の流出防止などの改善活動により、足元の工便は減少したものの、船便輸送期間の長期化による工便出荷や工便単価高騰の影響顧客への転嫁により下期は改善を予定 ◎精密金属加工部品:増収効果や物流費の減少による影響
その他	△ 31	(△ 14.9%)	△製品構成の変化による影響
セグメント間消去	△ 237		
全体合計:	498	(22.5%)	

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2025年3月期第2四半期(中間期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当社グループの当中間連結会計期間における業績につきましては、北米の自動車業界における堅調な需要の推移、アルミダイカスト製品や精密金属加工部品の受注増や為替の円安影響を受け、売上高は684億32百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

利益面につきましては、継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などが寄与し、営業利益は27億8百万円(同22.5%増)となりました。また、経常利益は26億20百万円(同18.4%増)となりましたが、親会社株主に帰属する中間純利益は5億28百万円(同14.1%減)となりました。

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した予想値に変更はありません。前提為替レートは、1USドル/146円、1ユーロ/159円としております。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

2024年12月

バルチラ社より「Supplier Awards 2024」を初受賞

当社はバルチラ社が製造する船用主機・補機・陸上発電機用中速エンジンに使われるすべり軸受を日本、イギリスで製造、供給しています。

評価されたポイント

製品の品質・信頼性・納期・価格競争力に優れ、顧客サービスの高いパフォーマンス、また、将来的に更なる飛躍を大いに期待できるサプライヤーであること。

今後もお客様と共にカーボンニュートラル実現を目指した製品を提供すべく、お客様のニーズに応える技術開発、質の高いサービスに更なる磨きをかけてまいります。

バルチラ社：船舶及びエネルギー関連市場において、脱炭素化の積極的な推進やライフサイクルソリューションを提供する世界79カ国、280以上の拠点を擁する世界のグローバルリーダーです。

バルチラ社 ホームページ：



『風車技術研究所 実験棟』を竣工

当社は、大型風力発電用すべり軸受の設計信頼性の向上を目的とした実験棟を連結子会社の大同メタル佐賀株式会社（佐賀県武雄市）で竣工しました。

洋上風力発電機の大型化に対応する次世代風車要素技術の開発に関し、2022年1月に採択された国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）「グリーンイノベーション基金事業（洋上風力発電の低コスト化プロジェクト）」の助成事業により竣工した本実験棟には、世界初となる「軸受メーカー単独でのすべり軸受用ベンチ試験機」を設置いたします。

佐賀大学、産業技術総合研究所と協力し風力発電用すべり軸受の開発に取り組んでまいります。試験開始は2025年5月頃を予定しています。



テレビ愛知「5時スタ」と「LBSローカルビジネスサテライト」にて 当社のVRクラウドソフトが紹介されました

当社のVRクラウドソフトが日本経済新聞でとり上げられ、それをきっかけにテレビ愛知の番組「5時スタ」でも放送されました。また同内容が「LBSローカルビジネスサテライト」の動画配信サイトにも掲載されています。

放送では、「製造業の教育・研修・マニュアル」をもっと分かりやすくする製造業のDXツールとして、VRクラウドソフトが紹介されています。

当社関係会社では、言語の壁がある外国籍従業員の教育に、研修内容を翻訳したVRクラウドソフトを活用することで、理解度の向上や研修時間の短縮を実現しています。また、現場に潜む危険な状況を再現した危険予知トレーニングにもVRを活用することで、安全意識の向上にも貢献しています。



動画配信サイト

「LBS」「大同メタル」で検索して、ご覧ください。

LBS 大同メタル

🔍 検索

「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参画いたしました

当社は、2024年8月に一般社団法人 日本経済団体連合会(経団連)と経団連自然保護協議会が制定した「経団連生物多様性宣言・行動指針」に賛同表明し、「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」へ参画いたしました。

経団連生物多様性宣言イニシアチブとは、賛同企業・団体のロゴマークおよび「取組方針・事例」等を、冊子や経団連ウェブサイトに掲載し、賛同企業・団体の顔が見えるかたちで、内外に発信する取り組みです。

大同メタルグループは、持続可能な社会と自然共生社会の実現に向けて、ステークホルダーとの協業、連携を通じ、生物多様性・生態系を含む自然資本の保全と再興に努めます。



経団連生物多様性宣言
イニシアチブ



経団連生物多様性宣言・
行動指針



産学官連携プロジェクト「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」に パートナー企業として参加しております

「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」とは、未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業・団体が提示した環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業・団体担当者とのディスカッションを実施し、その結果導き出した解決策を企業・団体側に提案して、その成果を広くPRするものです。

当社はパートナー企業として参加することで、学生がかけがえのない経験を積むとともに、社会経済情勢の変化や地球環境の危機的状況など、幅広い視点を踏まえて課題解決に取り組むことができる、持続可能な未来の担い手として成長することに貢献します。



「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の
詳細はこちら(愛知県HP)



「統合報告書」を発行しました

- 強化ポイント①：トップメッセージ**
 CEOメッセージとCOOメッセージで当社グループの戦略や目指す方向性をそれぞれインタビュー形式で掲載しています。
- 強化ポイント②：社外取締役座談会**
 当社のコーポレート・ガバナンスや企業価値向上に向けての課題・期待などについて、座談会形式で、多様な専門性と経験を持つ社外取締役が外部視点から語りました。
- 強化ポイント③：役員・責任者メッセージ**
 戦略ごとに責任者の顔写真・メッセージ(財務戦略、技術開発戦略、サステナビリティ、人的資本)を掲載し、戦略について説明するコンテンツを追加しました。
- 強化ポイント④：人的資本、人権ページの充実**
 人的資本と人権の開示の高まりを考慮し、ページを拡充、内容の充実を図りました。



統合報告書はこちらからご覧いただけます。



IR活動情報

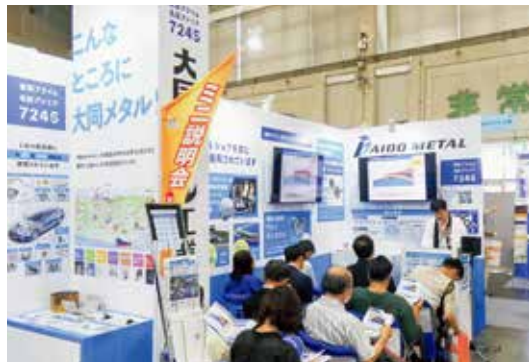
名証IRエキスポ2024 2024年9月(名古屋市)

当社ブースでは、ミニ説明会の開催とブースツアーの受け入れで、2日間で合計21回の会社説明を行い、盛況のうちに終えることができました。

本年は自動車に使われる様々な形状の製品や、自転車や飛行機に使われる製品も実際に展示をしたことで、個人投資家のみなさまより、「事業内容についてよく理解できた。」「身近な場所で使われている製品だということが分かった。」などのお言葉を頂くことができました。

また、電動化に伴う当社の新しい取り組みである「モーター用軸受(研究開発品)」の内容なども説明会資料に入れたことで、ご質問やお声がけもいただきました。

今後も、このような対面での個人投資家のみなさまとの対話を大切な機会ととらえ、進めてまいります。



名証IRセミナーオンライン 2024年10月(オンライン)

オンライン形式で開催されたセミナーのため、愛知県のみならず日本全国から228名の個人投資家のみなさまに、当社の会社説明をご覧いただきました。当日は、会社説明に加えて質疑応答の時間ももうけ、EV化へ向けた取り組みや株主還元の方針、新規事業の進捗状況等、頂いた多くの質問にご回答をいたしました。

今後も、個人投資家のみなさまが当社にご興味を持っていただけるよう、積極的なIR活動に努めてまいります。



2025年3月期通期業績予想

2024年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

連結	前年実績 / 予想 (百万円)			
	2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)	増減額	増減率
売上高	128,738	131,000	+ 2,261	+ 1.8%
営業利益 (営業利益率)	6,084 (4.7%)	6,000 (4.6%)	△ 84 (△ 0.1pt)	△ 1.4%
経常利益 (経常利益率)	5,825 (4.5%)	5,700 (4.4%)	△ 125 (△ 0.2pt)	△ 2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	2,569 (2.0%)	2,500 (1.9%)	△ 69 (△ 0.1pt)	△ 2.7%

※当期想定為替レート：146円 / 米ドル、159円 / ユーロ

配当について

当期の中間配当につきましては、2024年5月14日公表の予想値どおり、「1株当たり7円」とさせていただきます。

なお、当期の期末配当予想につきましては、予想値「1株当たり8円」を据え置いております。

	【前期】 2024年3月期	【当期】 2025年3月期
中間	2円	7円
期末	13円	(予想) 8円
年間配当	15円	(予想) 15円
配当性向	27.5%	28.3%

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル

▲スラストワッシャー

▲ターボチャージャー用ベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（ショックアブソーバー、空調コンプレッサー、ステアリング、トランスミッション）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用プッシュ

▲射出成型軸受（空調コンプレッサー用など）

▲ステアリング用プッシュ

非自動車用軸受

■事業内容

船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電（水力・火力・風力）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速エンジン用軸受

建設機械・ 中小型船舶用軸受



▲中高速エンジン用軸受

発電用軸受



▲回転機械用軸受

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用（電動化自動車含む）アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け精密金属加工部品（曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン）など。

〈主な製品〉



▲PCUケース（パワーコントロールユニット）

▲曲げパイプ製品

▲切削加工製品

その他

■事業内容

金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業など。

〈主な製品〉



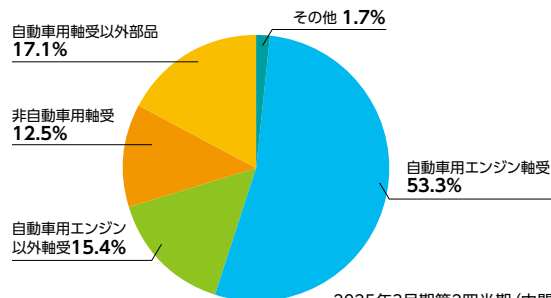
▲金属系無潤滑軸受

▲ロータリーポンプ

▲集中潤滑装置

▲電気二重層キャパシタ用電極シート

売上高構成比（外部売上比率）



2025年3月期第2四半期（中間期）

連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間 連結会計期間 (2024年9月30日)
流動資産	103,549	106,362
固定資産	84,820	90,115
有形固定資産	56,865	61,778
無形固定資産	9,384	9,106
投資その他の資産	18,570	19,230
資産合計	188,369	196,478
流動負債	74,468	78,115
固定負債	35,179	35,885
負債合計	109,647	114,001
株主資本	57,786	57,706
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	36,549	36,460
自己株式	△ 291	△ 281
その他の包括利益累計額合計	11,033	14,867
その他有価証券評価差額金	1,615	1,470
為替換算調整勘定	6,418	10,461
退職給付に係る調整累計額	2,999	2,935
非支配株主持分	9,901	9,903
純資産合計	78,721	82,476
負債純資産合計	188,369	196,478

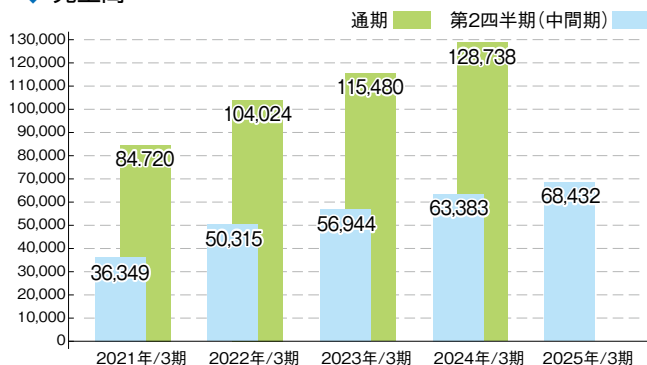
連結損益計算書

科目	前中間 連結会計期間 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	当中間 連結会計期間 (2024年4月1日～ 2024年9月30日)
売上高	63,383	68,432
売上原価	48,913	52,112
売上総利益	14,469	16,320
販売費及び一般管理費	12,259	13,611
営業利益	2,210	2,708
営業外収益	908	862
営業外費用	905	950
経常利益	2,212	2,620
税金等調整前中間純利益	2,212	2,620
法人税、住民税及び事業税	1,094	1,615
法人税等調整額	117	71
非支配株主に帰属する中間純利益	385	405
親会社株主に帰属する中間純利益	615	528

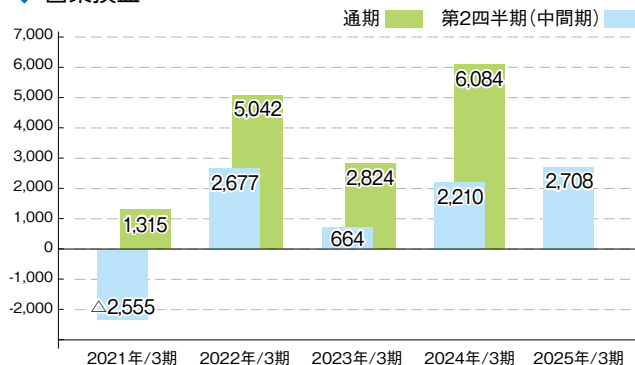
連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前中間 連結会計期間 (2023年4月1日～2023年9月30日)	当中間 連結会計期間 (2024年4月1日～2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,357	5,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,705	△ 6,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	623	△ 1,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	1,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,526	△ 1,699
現金及び現金同等物の期首残高	18,955	24,586
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,481	22,886

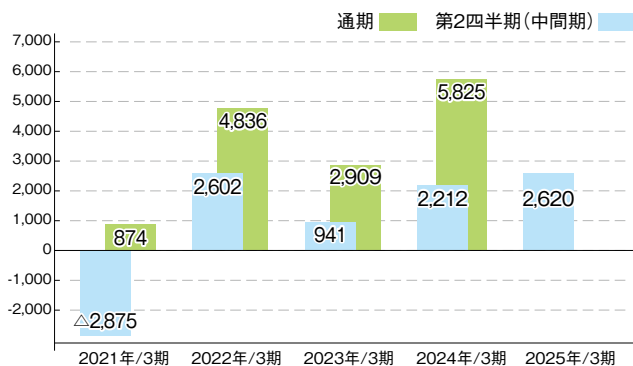
❖ 売上高



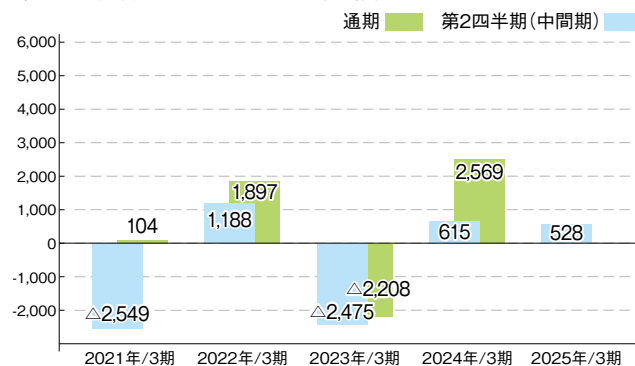
❖ 営業損益



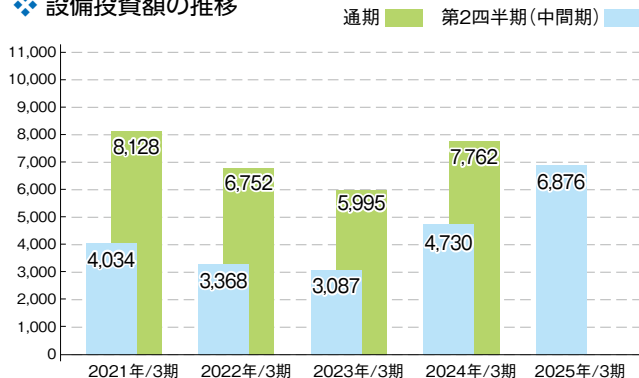
❖ 経常損益



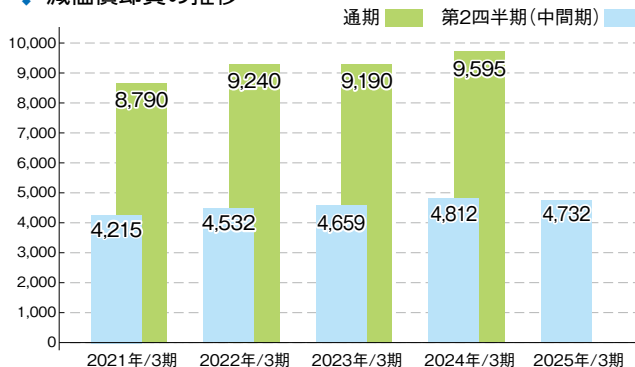
❖ 親会社株主に帰属する当期純損益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



会社概要

(2024年9月30日現在)

設立	1939年(昭和14年)11月4日
資本金	8,413百万円
従業員数	連結7,361名/個別1,401名
事業内容	<p>●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など</p> <p>●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(ショックアブソーバー、空調コンプレッサー、ステアリング、トランスミッション)用軸受など</p> <p>●非自動車用軸受 船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電(水力・火力・風力)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など</p> <p>●自動車用軸受以外部品 自動車用(電動化自動車含む)アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け精密金属加工部品(曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン)など</p> <p>●その他 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業など</p>

本社	名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 東京本社 〒140-0002 名古屋広小路ビルディング13階 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階
国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内) 前原工場(犬山事業所内) バimetal製造所(犬山事業所内) 岐阜工場 TMBS工場(犬山事業所内) TMBS=ターボマシナリーベアリングシステム(回転機械用軸受)
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所

関係会社

- 国内
大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社飯野製作所、ATAキャスティングテクノロジージャパン株式会社

●海外
(主な拠点)

【アジア】	中原大同股份有限公司(台湾)	PT.大同メタルインドネシア(インドネシア)
	同晟金属株式会社(韓国)	BBL大同プライベートLTD.(インド)
	ダイナメタルCO.,LTD.(タイ)	韓国ドライブアリング株式会社(韓国)
	フィリピン飯野Corp(フィリピン)	PT.飯野インドネシア(インドネシア)
	ATAキャスティングテクノロジージャパンCO.,LTD.(タイ)	DMキャスティングテクノロジージャパンCO.,Ltd.(タイ)
【中国】	大同精密金属(蘇州)有限公司	飯野(佛山)科技有限公司
	広州原同貿易有限公司	
【ヨーロッパ】		
	大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(英国)	大同メタルチェコs.r.o.(チェコ)
	大同メタルコートAD(モンテネグロ)	大同メタルヨーロッパLTD.(英国)
	大同メタルヨーロッパGmbH(ドイツ)	大同メタルロシアLLC(ロシア)
【北米】		
	大同メタルU.S.A.INC.(米国)	大同メタルメキシコS.A.DE C.V.(メキシコ)
	大同メタルメキシコ販売S.A.DE C.V.(メキシコ)	ISSアメリカINC.(米国)
	ISSメキシコマニファクチャリングS.A.DE C.V.(メキシコ)	

役員

(2024年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役社長	判治誠吾
代表取締役社長	古川智充
取締役	越前繁昌
取締役	吉田有宏
取締役	伊藤啓貴
取締役	武井敏一
取締役	星長清隆
取締役	白井美由里
監査役	高木幸司
監査役	松田和雄
監査役	吉田悦章

【注】☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

常務執行役員	平松伸隆
上席執行役員	正田健二
上席執行役員	川瀬部誠晃
上席執行役員	渡部弘記
上席執行役員	岩倉利一
上席執行役員	市橋アルン
上席執行役員	ティムアレン
上席執行役員	落合輝彦
執行役員	小林尚
執行役員	小林敦
執行役員	中野雅裕
執行役員	立木志津夫
執行役員	浅野厳文
執行役員	栗田直樹
執行役員	片桐武司
執行役員	籠原幸彦
執行役員	川原主税
執行役員	土屋重人
執行役員	高木敏彦
執行役員	丹羽貴裕
執行役員	川元省三
執行役員	大倉康裕
執行役員	中島充博

株式事項 (2024年9月30日現在)

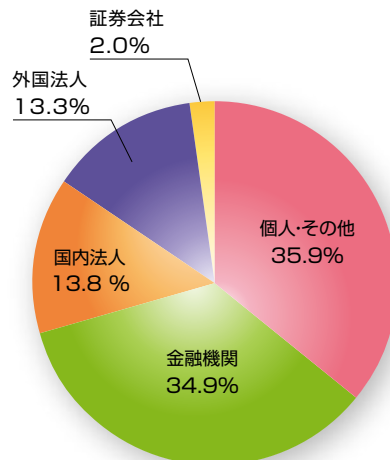
❖ 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 2,252 株を含む)
 株主数 12,898 名

❖ 大株主

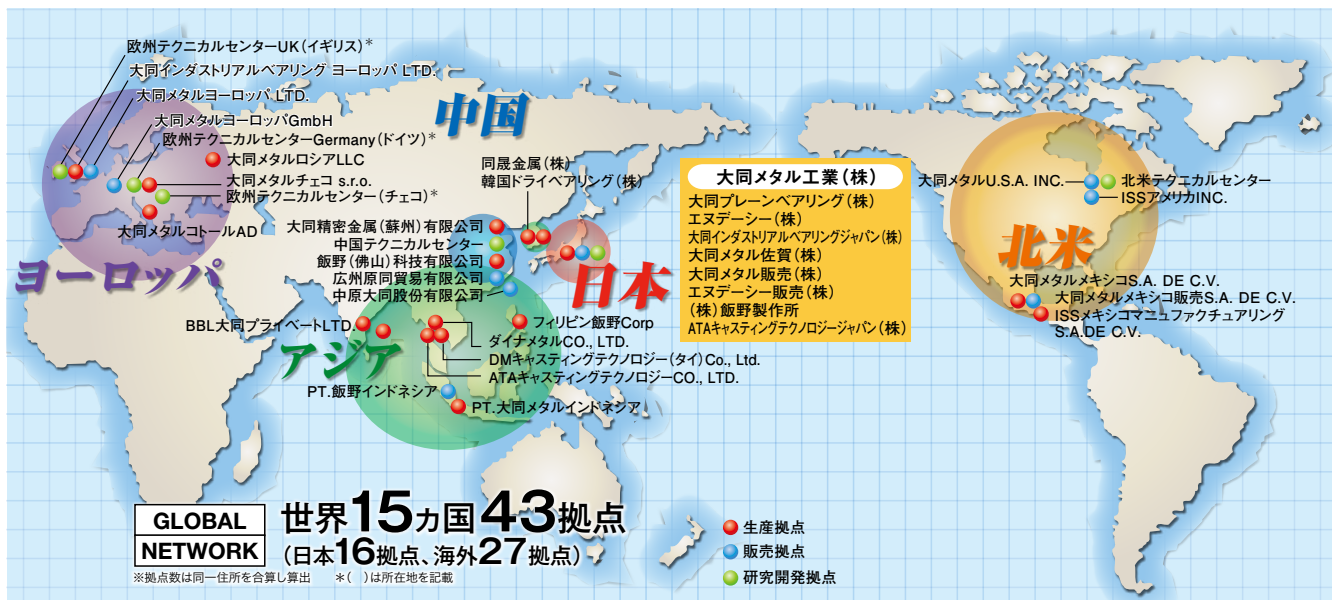
株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,986
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,969
大同メタル従業員持株会	1,962
大同メタル友栄会持株会	1,908
株式会社三菱UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000	1,000
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク(主な拠点)

(2024年9月30日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		特別口座の 口座管理機関
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株		上場証券取引所
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (https://www.ir.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| <p>1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00]</p> | <p>2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
三井住友信託銀行：https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/</p> |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500株以上～1,000株未満	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上～5,000株未満	クオカード 1,500円分	クオカード 2,500円分
5,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録され、かつ3月31日及び9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載又は記録された株主様といたします。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル早わかり動画URL

<https://www.daidometal.com/jp/20230202-3/>



将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保證するものではありません。

大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/jp/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。